

令和3年度

事業報告書・決算書

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

令和3年度事業報告書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

1. 運営の部

(1) 理事会

- ① 令和3年度第1回通常理事会（WEB会議による）
開催日：令和3年4月24日（土）
- ② 令和3年度第2回通常理事会（WEB会議による）
開催日：令和4年2月26日（土）
- ③ 令和3年度第1回臨時理事会（WEB会議による）
開催日：令和3年5月22日（土）

(2) 社員総会

- 令和3年度定時社員総会（WEB会議による）
開催日：令和3年5月22日（土）

2. 事業の部

(1) 第49回全国アマチュアオーケストラフェスティバル堺大会

令和3年8月27日（金）～8月29日（日） 於 フェニーチェ堺

※新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、WEB会議による運営協議会を除き中止

(2) 高円宮殿下メモリアル第22回日本マスターズオーケストラキャンプ

令和4年1月8日（土）～10日（月・祝） 於 京都府民ホール アルティ

(3) 第38回トヨタ青少年オーケストラキャンプ

令和4年3月27日（日）～30日（水） 於 レクザムホール

※新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み中止

※代替企画として令和4年3月27日（日）に

「おうち de TYOC」と「TYOC LIVE!」をオンライン上で実施

(4) 国民文化祭わかやま 2021 オーケストラの祭典

令和3年11月7日（日） 於 和歌山県民文化会館大ホール

(5) 広報活動事業

- ・「トヨタコミュニティコンサート」の開催支援
- ・「JAO 特別後援（メッセージ広告）」の運用
- ・「JAO ミュージックライブラリ」の運用開始
- ・本連盟（JAO）のホームページ・Facebook を活用した広報活動事業

以上

令和3年度事業報告書

付 属 明 細 書

I. 運営の部

1. 各種会議及びその決定事項

開催年月日	会議名	項 目
令和3年4月24日	令和3年度 第1回通常理事会 (WEB会議による)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度事業報告案並びに収支決算案を理事会承認、総会へ付議 2. 任期満了に伴う役員改選案を理事会承認、総会へ付議 3. 第51回全国アマチュアオーケストラフェスティバル開催地案を理事会承認 4. 「トヨタミュージックライブラリー」の業務受託案について理事会承認 5. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 6. 各事業に関して担当理事より報告
令和3年5月22日	令和3年度 定時社員総会 (WEB会議による)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度事業報告案並びに収支決算案の承認 2. 任期満了に伴う役員改選案を可決 3. 令和3年度事業計画並びに収支予算について報告 4. 第50回、第51回全国フェスティバルの開催計画について報告 5. 新規加盟会員及び退会会員について報告
令和3年5月22日	令和3年度 第1回臨時理事会 (WEB会議による)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役員改選に伴い、役付役員を互選
令和4年2月26日	令和3年度 第2回通常理事会 (WEB会議による)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度補正予算案を承認 2. 令和4年度定時社員総会の開催を決議 3. 令和4年度事業計画案並びに予算案を承認 4. 事務局長任免案を承認 5. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 6. 各事業に関して担当理事より報告

2. 社員の異動について

社員種別	員 数		増 減 数	備 考
	令和4年3月31日現在	令和3年3月31日現在		
正会員	130	134	4 会員減	0 増 4 減

平成 26 年度より平成 28 年度まで微増してきた会員数は、平成 29 年度以降減少が続いている。平成 31 年度には 3 会員が退会したため前年度（令和 2 年度）末の会員数は 134 団体で、令和 3 年度は期中に 3 団体が退会、2 か年会費未納により 1 団体が自動退会となり、新規加盟団体は無く当年度末の会員数は 130 団体となった。なお、次年度期首から 1 団体が入会するため、令和 4 年度は 131 団体でスタートする予定である。

法人の管理運営費用を会費収入に依存している本連盟にとっては、会員の維持・獲得を今後も最重点課題として取り組んでいきたい。

II. 事業の部

1. 全国フェスティバルの開催（運営協議会のみ実施、他は中止）

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は毎年全国各地を巡り開催する本連盟の主要事業。令和 3 年度は、前年度に「2020 世界アマチュアオーケストラフェスティバル in Tokyo（第 48 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル東京大会）」が新型コロナウイルス感染症の感染拡大から中止となったことから入念に開催を模索してきたが、7 月に東京都に 4 回目の緊急事態宣言が出され、その後は全国に感染拡大し第 5 波に突入したため、今回も参加者・関係者および演奏会ご来場者の健康や安全面等を第一に考慮し、運営協議会のみ WEB 会議で実施することとし、他は中止することを 8 月 2 日に決定した。中止にあたっては、事業費の支払いを抑制するためにできる限り務めたが、支払い済みの経費や契約上の負担金等、本連盟は一定の費用を支払うこととなった。

8 月 27 日に開催した運営協議会には、40 団体 54 名が参加し、JAO 事業及び加盟団体の運営等に関する会議を行った。

中止した開催計画の概要は以下のとおり。

名 称：第 49 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル堺大会
期 間：令和 3 年 8 月 27 日（金）～ 29 日（日）
※「フェスティバルコンサート」 8 月 29 日
会 場：堺市民芸術文化ホール「フェニーチェ堺」大ホール

内 容：

①フェスティバルコンサート（8月29日）

・【フェスティバルオーケストラ A】

指揮：寺岡清高

コンサートマスター：森下幸路

曲目：J.シュトラウスⅡ 作曲／喜歌劇「こうもり」序曲

ブラームス 作曲／交響曲第4番ホ短調

・【フェスティバルオーケストラ B】

指揮：井崎正浩

コンサートマスター：森田昌弘

曲目：レスピーギ 作曲／「ローマの松」、「ローマの噴水」、「ローマの祭」

②運営協議会（8月27日に前述のとおり実施）

③国際交流

・実績のある BDLO 及びアジア諸国から参加者を招聘し国際交流を図る

2. マスターズオーケストラキャンプの開催

本キャンプの前途に大きな期待を抱かれていた前 JAO 総裁 故 高円宮殿下のご遺志を尊重し、名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠した「日本マスターズオーケストラキャンプ (MOC)」は、令和3年度には第22回を数え、以下の内容で開催した。

なお、実施に当たっては新型コロナウイルス感染防止のため、事前に参加者全員に抗原検査キットを配布し、陰性の確認を行うとともに、毎日検温を実施し、弁当の配布と懇親会を中止、新春コンサートは無観客とするなどの対策を講じての開催となった。

名 称：高円宮殿下メモリアル第22回日本マスターズオーケストラキャンプ

期 間：令和4年1月8日（土）～10日（月・祝）

※「初春コンサート」（無観客） 1月10日

会 場：京都市 京都府立府民ホール「アルティ」

研修曲目：ハイドン作曲／チェロ協奏曲第2番

モーツァルト作曲／ヴァイオリン協奏曲第3番（弦楽合奏版）

メンデルスゾーン作曲／弦楽のための交響曲第8番

講 師：森田昌弘（ヴァイオリン）、御法川雄矢（ヴィオラ）、藤森亮一（チェロ）

3. 青少年オーケストラキャンプの開催（中止）

第 38 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ（TYOC）

令和 3 年度の TYOC は、新型コロナウイルス感染症の変異株の感染拡大により収束の見込みが立たないため、前年度に続き現地に集合しての開催を令和 4 年 3 月 1 日に断念し、代替企画として「おうち de TYOC 参加者交流会」、「TYOC LIVE！」をオンラインで開催することとし、前者では参加者による交流会と香川オンライン観光、後者では一部講師と特別演奏会のソリストによる演奏会のライブ配信を開催した。

中止となった事業の概要は以下のとおり。

名 称：第 38 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
期 間：令和 4 年 3 月 27 日（日）～ 30 日（水）
会 場：香川県県民ホール レクザムホール
曲 目：ファリャ作曲／バレエ音楽「三角帽子」第 1・第 2 組曲
尾高尚忠作曲／フルート協奏曲（フルートソロ：山本涼音）
チャイコフスキー／弦楽セレナーデ ハ長調
ホルスト／吹奏楽のための第一組曲 変ホ長調
演 奏 会：3 月 30 日に「日本青少年交響楽団特別演奏会」を開催
指 揮 者：現田茂夫（神奈川フィルハーモニー管弦楽団 名誉指揮者）
講 師：三浦章宏（Vn 東京フィル）他 16 名

4. 国民文化祭への協力

昭和 62 年から文化庁と都道府県により開催されている国民文化祭の部門別事業となっている「オーケストラの祭典」に対して、JAO は積極的に会員団体からの参加を呼びかけており、令和 3 年度は 11 月 7 日（日）に開催された「紀の国わかやま文化祭 2021」の「オーケストラの祭典」へ協力した。

開催の概要は以下のとおり。

名 称：紀の国わかやま文化祭 2021 「オーケストラの祭典」
日 時：令和 3 年 11 月 7 日（日）
会 場：和歌山県民文化会館大ホール
内 容：①和歌山市交響楽団と市内の中学校の合同合唱団による歓迎演奏

ネイラー作曲／序曲「徳川頼貞」

菅野よう子作曲／「花は咲く」

小田美樹作曲／「群青」

指揮：小川雅之

コンサートミストレス：北島佳奈

②全国から募集した一般演奏者を中心とする合同演奏

チャイコフスキー作曲／交響曲第 6 番ロ短調「悲愴」

指揮：江田司

コンサートマスター：寺西一巳

5. 広報活動事業

「トヨタコミュニティコンサート」の開催支援

「トヨタコミュニティコンサート」(TCC)は、“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”を目的に、トヨタ自動車株式会社並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO 加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会で、公演回数は昭和 56 年の第 1 回開催から 1751 回を数える。

前年度はリニューアル検討期間として 1 年間休止し、令和 3 年度より以下の方式により再開することとなり、初年度の令和 3 年度は C の自由裁量コースを 32 公演、D の販売店コースを 5 公演開催した。(この内、新型コロナ感染拡大等により C コース中止 3 件、次年度延期 1 件、D コース中止 1 件となった。)

【リニューアル企画内容（令和 3 年度）】

A 企画提案コース①・・・三枝音楽監督提案型

三枝音楽監督が企画するコンサートにチャレンジするコース

B 企画提案コース②・・・JAO 提案型

JAO が提案する指揮者・ソリスト等と共演するコース

C 自由裁量コース・・・アマチュアオーケストラ起案の自由公演

次の重点テーマに沿った企画によるコンサートを開催するコース

- ・地域課題解決
- ・ダイバーシティ&インクルージョン
- ・SDGs

D 販売店コース・・・販売店起案の地域での公演

地域のトヨタ販売店からの起案により、対象地域のアマチュアオーケストラが協力してコンサートを実施するコース

令和4年度は、自由裁量コースの重点テーマがSDGsの一つとなり、令和4年1月31日に「B 企画提案コース②」の2公演、「C 自由裁量コース」の39公演と、詳細は未定だが「D 販売店コース」数公演の開催を決定した。

「JAO特別後援（メッセージ広告）」の運用開始

前年度は元々開催予定のないトヨタコミュニティコンサート（TCC）に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」や「マスターズオーケストラキャンプ（MOC）」など当連盟の会員向け事業が中止となったことから、停滞した会員サービスを補い、会員の演奏活動再開を応援するために、令和2年11月1日より「JAO特別後援（メッセージ広告）」の実施を企画し、以下のとおり運用している。

実施期間：令和2年11月1日から令和5年3月31日開催分まで

対 象：各会員が令和2年11月1日以降最初に開催する会員主催の演奏会

広告内容：演奏会パンフレットに次のメッセージを掲載する

「(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟は(団体名)を応援しています」

広 告 料：1件 3万円

申 請 数：延べ96団体（うち令和3年度53団体）

支払件数：延べ87団体（うち令和3年度60団体）

「JAOミュージックライブラリー」の運用開始

令和3年11月に貸出業務を終了した「トヨタミュージックライブラリー」の楽譜蔵書について、JAOはトヨタ自動車株式会社よりライブラリーを引継ぎ、アマチュアオーケストラへの支援活動をより一層充実したものとするため、オーケストラ活動には欠かせない「楽譜」の無料レンタルを、令和4年2月より新たに「JAOミュージックライブラリー」として運用を開始しました。

貸出件数：18団体（うちJAO加盟団体11団体、その他7団体）

楽 譜 数：25セット

以上

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	7,212,758	1,962,861	5,249,897
未収金	1,534,007	6,114,000	▲ 4,579,993
流動資産合計	8,746,765	8,076,861	669,904
固定資産			
基本財産			
基本財産積立預金	44,400,000	44,400,000	0
基本財産合計	44,400,000	44,400,000	0
特定資産			
特定費用準備資金	2,000,000	2,000,000	0
特定資産合計	2,000,000	2,000,000	0
その他の固定資産			
什器備品	9	9	0
敷金	617,924	617,924	0
その他の固定資産合計	617,933	617,933	0
固定資産合計	47,017,933	47,017,933	0
資産合計	55,764,698	55,094,794	669,904
II 負債の部			
流動負債			
未払金	137,040	283,947	▲ 146,907
前受金	80,000	0	80,000
預り金	26,820	424,488	▲ 397,668
流動負債合計	243,860	708,435	▲ 464,575
負債合計	243,860	708,435	▲ 464,575
III 正味財産の部			
指定正味財産	46,400,000	46,400,000	0
(うち基本財産への充当額)	(44,400,000)	(44,400,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)
一般正味財産	9,120,838	7,986,359	1,134,479
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	55,520,838	54,386,359	1,134,479
負債及び正味財産合計	55,764,698	55,094,794	669,904

正味財産増減計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,835	7,553	▲5,718	
基本財産受取利息	1,835	7,553	▲5,718	定期預金利息
② 受取入会金	0	30,000	▲30,000	
受取入会金	0	30,000	▲30,000	
③ 受取会費	8,300,000	8,450,000	▲150,000	
正会員受取会費	6,550,000	6,650,000	▲100,000	131会員
賛助会員受取会費	1,750,000	1,800,000	▲50,000	18会員
④ 事業収益	4,104,094	1,584,000	2,520,094	
公1事業収益	4,104,094	1,584,000	2,520,094	広告料 等
⑤ 受取補助金等	16,993,000	12,679,000	4,314,000	
受取地方公共団体補助金	1,240,000	0	1,240,000	堺市
受取民間助成金	15,753,000	8,679,000	7,074,000	サーラコーポレーション、トヨタ自動車、日本芸術文化振興会
受取補助金等振替額	0	4,000,000	▲4,000,000	
⑥ 受取寄付金等	0	7,000,000	▲7,000,000	
受取寄付金	0	7,000,000	▲7,000,000	
⑦ 雑収益	184	130,122	▲129,938	
受取利息	184	122	62	
雑収益	0	130,000	▲130,000	
経常収益計	29,399,113	29,880,675	▲481,562	
(2) 経常費用				
① 事業費	24,441,492	25,652,607	▲1,211,115	
役員報酬	2,880,000	2,880,000	0	
給料手当	3,840,000	3,840,000	0	
臨時雇用賃金	180,000	290,000	▲110,000	
法定福利費	732,355	750,613	▲18,258	
福利厚生費	0	56,732	▲56,732	
会議費	124,898	6,910	117,988	
旅費交通費	1,775,448	250,071	1,525,377	
通信運搬費	687,780	806,094	▲118,314	
消耗品費	1,703,941	532,866	1,171,075	
印刷製本費	480,260	233,388	246,872	
光熱水料費	129,208	144,557	▲15,349	
賃借料	3,656,094	6,300,684	▲2,644,590	
保険料	0	7,952	▲7,952	
諸謝金	3,848,939	7,295,205	▲3,446,266	
広報費	3,833,800	1,887,506	1,946,294	
租税公課	8,600	0	8,600	
雑費	560,169	370,029	190,140	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
② 管理費	3,823,142	4,056,186	▲233,044	
役員報酬	720,000	720,000	0	
給料手当	960,000	960,000	0	
法定福利費	183,089	187,653	▲4,564	
福利厚生費	67,200	67,200	0	
旅費交通費	23,020	17,840	5,180	
通信運搬費	237,815	215,566	22,249	
消耗品費	116,229	100,781	15,448	
印刷製本費	206,800	247,500	▲40,700	2020年度版JA0関係資料
光熱水料費	32,300	36,137	▲3,837	
賃借料	699,430	711,869	▲12,439	
保険料	7,150	5,880	1,270	
租税公課	79,639	352,200	▲272,561	
雑費	490,470	433,560	56,910	
経常費用計	28,264,634	29,708,793	▲1,444,159	
当期経常増減額	1,134,479	171,882	962,597	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,134,479	171,882	962,597	
一般正味財産期首残高	7,986,359	7,814,477	171,882	
一般正味財産期末残高	9,120,838	7,986,359	1,134,479	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	0	▲4,000,000	4,000,000	
当期指定正味財産増減額	0	▲4,000,000	4,000,000	
指定正味財産期首残高	46,400,000	50,400,000	▲4,000,000	
指定正味財産期末残高	46,400,000	46,400,000	0	
III 正味財産期末残高	55,520,838	54,386,359	1,134,479	

正味財産増減計算書 内訳表

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,835	0	1,835
基本財産受取利息	1,835	0	1,835
② 受取入会金	0	0	0
受取入会金		0	0
③ 受取会費	0	8,300,000	8,300,000
正会員受取会費		6,550,000	6,550,000
賛助会員受取会費		1,750,000	1,750,000
④ 事業収益	4,104,094	0	4,104,094
事業収益	4,104,094		4,104,094
⑤ 受取補助金等	16,993,000	0	16,993,000
受取地方公共団体補助金	1,240,000		1,240,000
受取民間助成金	15,753,000		15,753,000
⑥ 受取寄付金等	0	0	0
受取寄付金	0		0
⑦ 雑収益	13	171	184
受取利息	13	171	184
経常収益計	21,098,942	8,300,171	29,399,113
(2) 経常費用			
① 事業費	24,441,492		24,441,492
役員報酬	2,880,000		2,880,000
給料手当	3,840,000		3,840,000
臨時雇用賃金	180,000		180,000
法定福利費	732,355		732,355
会議費	124,898		124,898
旅費交通費	1,775,448		1,775,448
通信運搬費	687,780		687,780
消耗品費	1,703,941		1,703,941
印刷製本費	480,260		480,260
光熱水料費	129,208		129,208
賃借料	3,656,094		3,656,094
諸謝金	3,848,939		3,848,939
広報費	3,833,800		3,833,800
租税公課	8,600		8,600
雑費	560,169		560,169

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
② 管理費		3,823,142	3,823,142
役員報酬		720,000	720,000
給料手当		960,000	960,000
法定福利費		183,089	183,089
福利厚生費		67,200	67,200
旅費交通費		23,020	23,020
通信運搬費		237,815	237,815
消耗品費		116,229	116,229
印刷製本費		206,800	206,800
光熱水料費		32,300	32,300
賃借料		699,430	699,430
保険料		7,150	7,150
租税公課		79,639	79,639
雑費		490,470	490,470
経常費用計	24,441,492	3,823,142	28,264,634
当期経常増減額	▲3,342,550	4,477,029	1,134,479
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
他会計振替額	3,000,000	▲3,000,000	0
当期一般正味財産増減額	▲342,550	1,477,029	1,134,479
一般正味財産期首残高	▲14,769,169	22,755,528	7,986,359
一般正味財産期末残高	▲15,111,719	24,232,557	9,120,838
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		0
指定正味財産期首残高	46,400,000		46,400,000
指定正味財産期末残高	46,400,000		46,400,000
III 正味財産期末残高	31,288,281	24,232,557	55,520,838

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、定額法により償却する。ただし、取得した翌年度より償却を開始する。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式を採用している。

2. 会計方針の変更

変更なし 「公益法人会計基準」(平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基本財産				
定期預金	44,400,000	0	0	44,400,000
小 計	44,400,000	0	0	44,400,000
特定資産				
普通預金	2,000,000	0	0	2,000,000
小 計	2,000,000	0	0	2,000,000
合 計	46,400,000	0	0	46,400,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)
小 計	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)
特定資産				
公1事業積立預金	2,000,000	(2,000,000)	(0)	(0)
小 計	2,000,000	(2,000,000)	(0)	(0)
合 計	46,400,000	(46,400,000)	(0)	(0)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什器備品	4,301,862	4,301,853	9
合 計	4,301,862	4,301,853	9

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の残額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の残額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取民間助成金	民間企業	0	7,000,000	7,000,000	0	—
受取民間助成金	民間企業	0	6,000,000	6,000,000	0	—
受取民間助成金	民間企業	0	2,000,000	2,000,000	0	—
受取民間助成金	(独)日本芸術文化振興会	0	753,000	753,000	0	—
受取寄付金	個人からの遺贈	2,000,000	0	0	2,000,000	指定正味財産
合 計		2,000,000	15,753,000	15,753,000	2,000,000	

財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	95,673	
	預金	普通預金	運転資金として		
		三菱UFJ銀行豊橋支店		7,005,981	
		十六銀行豊橋支店		10,532	
		三井住友銀行豊橋支店		25,936	
		静岡銀行豊橋支店		24,937	
未収金		J A Oフェス、T C C	49,699		
			1,534,007		
流動資産合計				8,746,765	
(固定資産)	基本財産	預金	定期預金	公益目的事業に不可欠な特定の財産	
			三菱UFJ銀行豊橋支店		10,000,000
			十六銀行豊橋支店		10,000,000
			三井住友銀行豊橋支店		10,000,000
			静岡銀行豊橋支店		10,000,000
	特定資産	預金	みずほ銀行豊橋支店	4,400,000	
			普通預金	公1事業の財源として使用	
	その他固定資産	什器備品	三菱UFJ銀行豊橋支店		2,000,000
			保管庫・机・椅子等	9	
			事務所（光陽ビル）敷金	617,924	
固定資産合計				47,017,933	
資産合計				55,764,698	
(流動負債)	未払金		TYOC経費	137,040	
	前受金		入会金、年会費	80,000	
	預り金		給与の源泉徴収税額	26,820	
流動負債合計				243,860	
負債合計				243,860	
正味財産合計				55,520,838	